

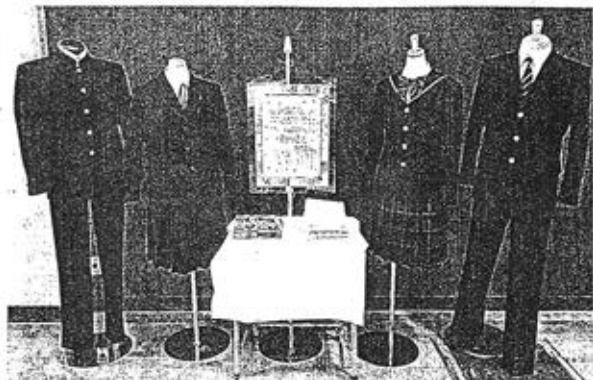
草津町は約40年ぶりに草津中の制服を新調する。「ふるさと納税」による町への寄付金を活用し、新年度の1〜3年生に当たる現在の小学6年生から中学2年生まで約160人分の購入費用(約670万円)を町が全額負担する。

新しい制服は写真右は男女ともブレザータイプで、速乾性や伸縮性などに優れた生地を採用。選定過程では、学校行事に合わせて複数の制服モデルを展示し、生徒や保護者に投票してもらって、デザインを絞り込んだ。

町教委によると、現在の制服は同左は四十数年前のモデルで、生地が硬く、生徒から「着心地が悪い」といった意見が寄せられていた。PTA役員や教

「ふるさと納税」で草津中

40年ぶり新制服



職員、町教育委員らが検討委員会を立ち上げ、昨夏からアンケートなどを行ってきた。

委員長を務めたPTA会長の松本安紀子さんは「生徒や卒業生、保護者が納得できる形で新しい制服を決めることができたい。この制服が学校の新たな伝統になってくれれば」と願いを込めた。

町は今後、現在の小学5年生54人分の購入費も全額負担し、小学4年生以降は半額を補助する方針。町教委は「町内では卒業生がきょうだいや親戚、近隣の先輩に制服を譲る習慣が根付いており、4学年分を購入しておけば、費用負担の不公平感はある程度なくなると判断した」としている。